

市民病院だより

大崎市民病院理念・基本方針

【病院理念】
～市民が安心できる医療の提供～

【基本方針】
市民に適切な医療の提供
地域に貢献する医療の構築
健全経営の確保



ふれあい健康フェスティバルを開催しました

☎ 総務課総務係 23-3311 (内線3503)

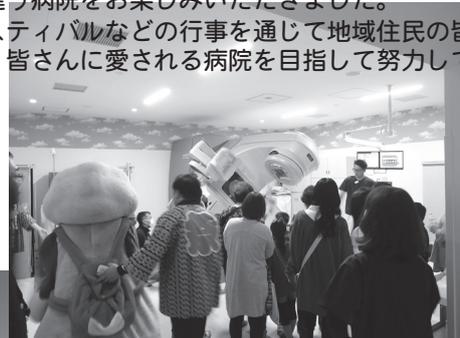


今年で3回目の開催となる「ふれあい健康フェスティバル」を11月3日(土)に行いました。

当日は、秋晴れに恵まれ、午前10時のオープニングとともにたくさんの方がご来場され、血管年齢測定などの各種体験コーナーはスタートから大変なにぎわいでした。

当院では、患者さんや地域の方々に病院を身近に感じてもらうため、毎年開催している本フェスティバルでは、院内各所に職員が企画するイベントや体験ブースを設置し、来場者の方に普段とは雰囲気の違いをお楽しみいただきました。

今後もこのフェスティバルなどの行事を通じて地域住民の皆さんと交流を深め、皆さんに愛される病院を目指して努力してまいります。



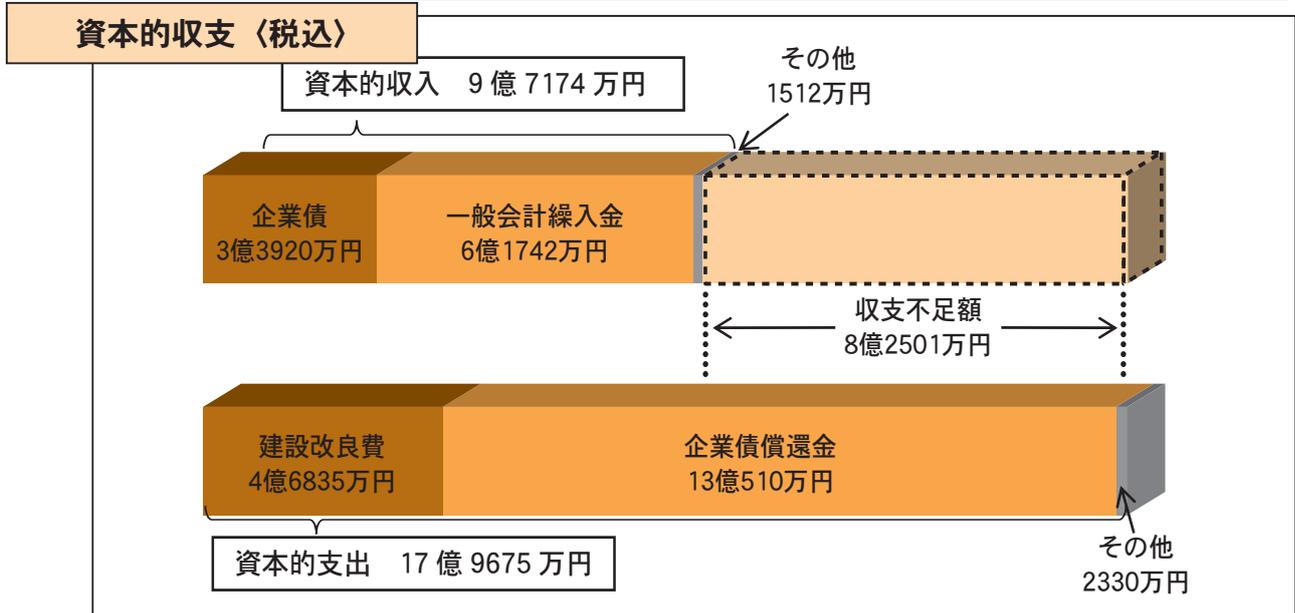
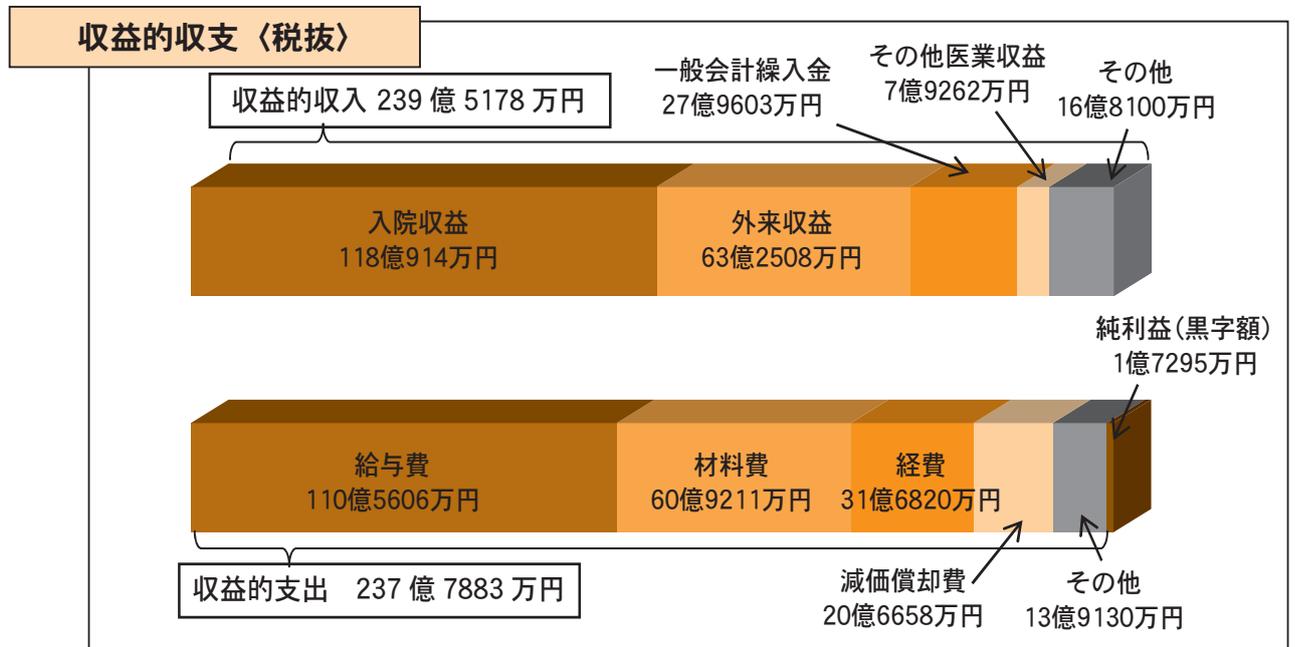
決算概要

平成 29 年度大崎市病院事業会計決算の概要についてお知らせします。

当病院事業は、各医療施設がそれぞれの機能分担を図りながら、地域の医療ニーズに応えるべく医療機能の充実に努めてきました。本院においては、平成 28 年度に医療の質の向上を目指し受審した、病院機能評価の認定を受けたことによる新規施設基準の取得や、外来化学療法の増加による診療単価の伸びから医業収益が増加しました。その一方で、500 床フル稼動に向けた継続的な医療スタッフの確保や、抗がん剤など的高額薬品の使用量が増加したことにより医業費用も増加しました。この結果、病院事業収益は 239 億 5,178 万円、病院事業費用は 237 億 7,883 万円、差引で 1 億 7,295 万円の純利益を計上することができ、病院事業全体の総収支では、平成 28 年度に大崎市が策定した「新大崎市民病院改革プラン」の目標値を大きく上回り、新本院移転後初めての黒字決算となりました。

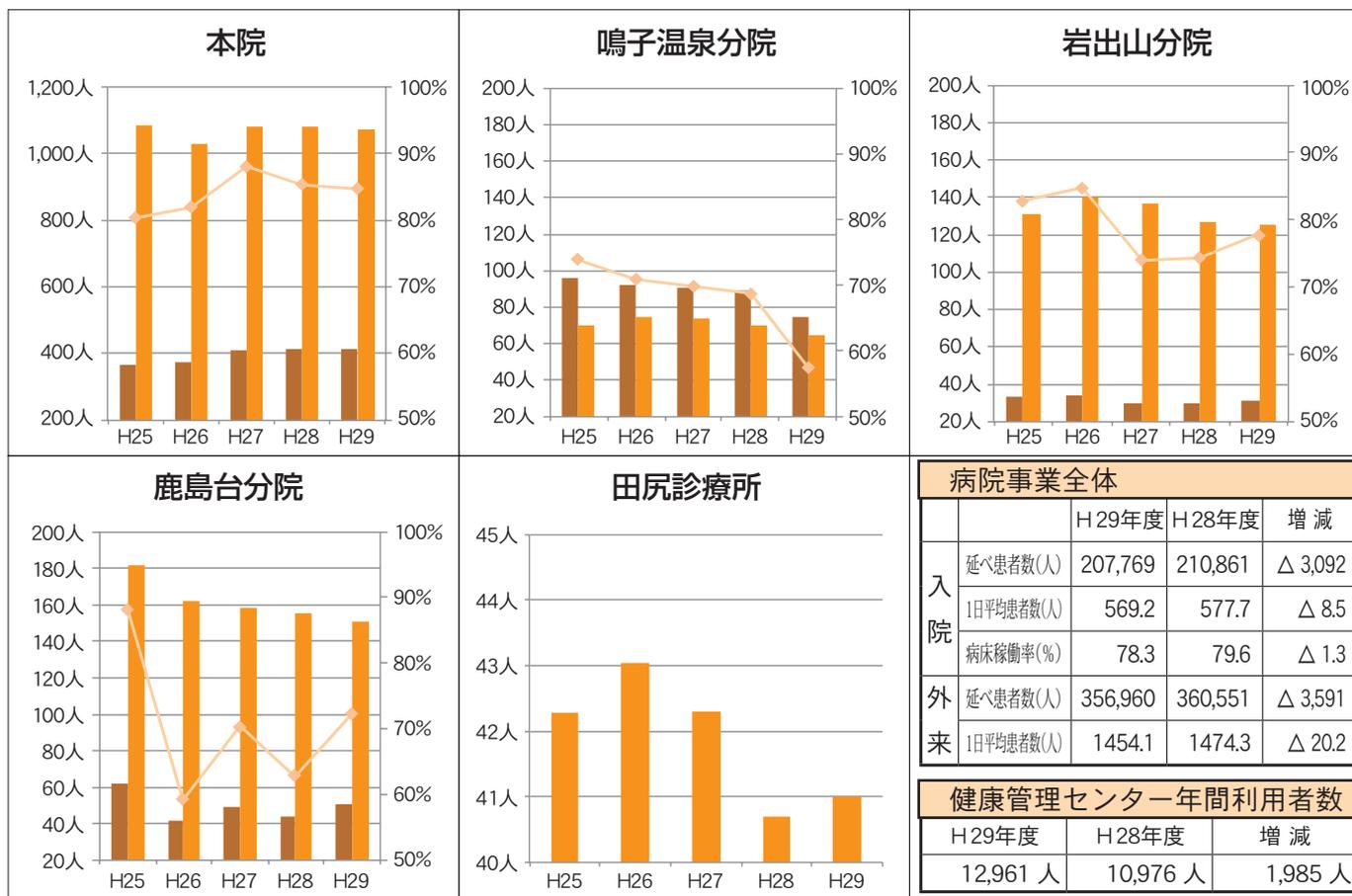
さらに、「新大崎市民病院改革プラン」に基づき、岩出山分院のリハビリ施設建設に向けた実施設計に着手するとともに、病院事業の具体的な行動計画となる「病院ビジョン」の策定に向け取り組みました。

今後は、岩出山分院のリハビリ施設建設や、鳴子温泉分院の建替えを計画的に実行するとともに、「病院理念」に基づく病院運営を念頭に、地域の実情の的確な把握に努めながら、本院、分院及び診療所の機能維持と連携強化を図り、市民が安心できる地域医療の向上に貢献してまいります。



1日平均患者数及び病床稼働率の推移

■ 入院 ■ 外来 ○ 病床稼働率



用語解説

【収益的収支】

医療サービスの提供やこれに付随する事業など、病院の1年間の経営活動によって生じた収益を「収益的収入」、また、これらの収益を生むために要した費用を「収益的支出」といいます。「収益的収支」とはその差引額のことです。1年間の病院の経営成績を表します。(収入が支出を上回れば「黒字」、下回れば「赤字」です。)

【資本的収支】

医療機器の購入や施設整備に要する支出、また、医療機器購入等のために借入れた企業債の元金返済に要する支出を「資本的支出」、この財源となる企業債や一般会計からの補助金を「資本的収入」といいます。

【資本的収支不足額】

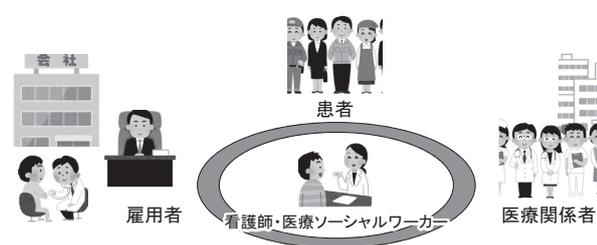
収益的収支における現金の支出を伴わない費用(減価償却費や資産減耗費など)の計上により企業内部に留保される資金(損益勘定留保資金)などで補てんされます。

【病床稼働率】

病院のベッドがどの程度効率的に稼働しているかを示す数字です。100%に近いほど空いているベッドが無い状態で利用されていることとなります。病院の経営の質を示す指標として活用されます。

③ 地域医療連携室

(内線 1230)



治療と仕事の両立支援のご案内

当院では、平成30年5月1日からがん患者の治療と仕事の両立に向けた支援の取り組みを開始しました。

『がん治療をしながら、仕事も継続したい』『今まで通りの仕事も復帰できるか不安だ』『会社にどう伝えたら良いか悩んでいる』というような悩みを抱えている方に、がん相談支援センターの看護師や相談員(医療ソーシャルワーカー)が治療や仕事についてお話を伺い、解決策を一緒に考えるお手伝いをします。必要に応じて、お勤め先から勤務状況を伺い、主治医や産業医と情報交換をしたり、宮城県産業保健総合支援センターに依頼し、連携しながら一人一人に合わせた治療と仕事の両立のための調整を行います。ぜひお気軽にお問合わせください。

国の制度改正に伴い、10月1日から 市民病院本院の受診方法が変わりました

①再診時に2,700円を
ご負担いただく場合があります。

現在本院に通院中の患者さんのうち、状態が安定した方については随時地域の医療機関(かかりつけ医)を紹介をさせていただいておりますが、担当医から地域の医療機関を紹介する旨の説明があった患者さんのうち、当院での通院を継続された場合、受診の都度、医療費の自己負担に加え、2,700円(税込)をご負担いただくこともあります。

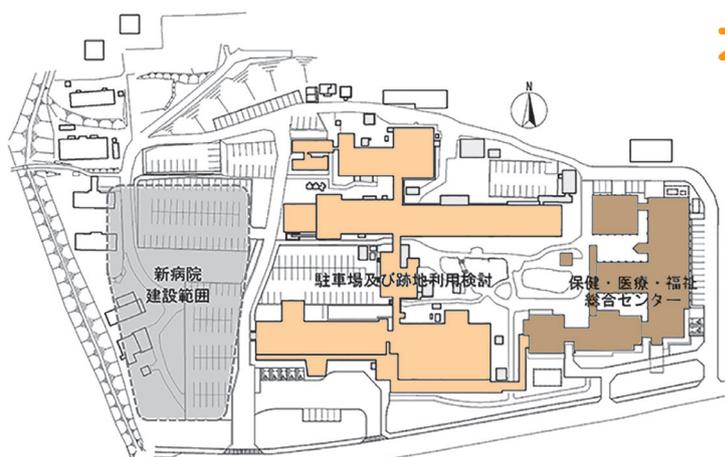
②小児科を含め全ての診療科で
紹介制になりました。

本院を受診する際は、地域の医療機関(かかりつけ医)からの紹介状が必要です。紹介状がなく受診を希望された場合、医療費の自己負担に加え、5,400円(税込)をご負担いただくこともあります。

また、診療予約のある患者さんを優先していますので、待ち時間が発生しますことをあらかじめご了承ください。

～かかりつけ医をお探しの方へ～

当院では、地域の先生方と日頃の診療や研修会などを通じて連携を深めております。市民病院の「登録医」、さらには市民病院小児科医師による研修会を受講され、「こどもサポート医」として登録している医療機関をホームページ及び本院1階新患受付付近にて情報提供しておりますので、ご覧のうえぜひご活用ください。



大崎市民病院鳴子温泉分院 新病院建設事業について

鳴子温泉分院管理課 82-2311

鳴子温泉分院については、平成29年3月に大崎市が策定した「新大崎市民病院改革プラン」に基づき、今後の人口減少を踏まえた「地域医療」のあり方を考慮しつつ、①地域のかかりつけ医機能、②本院後方支援機能、③在宅復帰支援の機能及び連携機能などの機能を有した適正規模の病院に建て替えることとしています。

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
新病院建設工程	基本計画	基本・実施設計	建設工事	開院準備

現在の作業工程としては、基本設計の段階であり、部屋の配置や具体的な運用方法の検討作業を行っています。新しい鳴子温泉分院が、地域住民の皆さんにとって、さらに身近で頼りにされる病院となるよう職員一丸となって取り組んでまいります。

3 建物規模：約3,500㎡
4 駐車台数：約150台
5 建設場所：現在地
(大崎市鳴子温泉字末沢1番地)

2 標榜診療科：5診療科
(内科、外科、整形外科、眼科、耳鼻咽喉科)

1 病床数：一般病床40床
(うち地域包括ケア病床10床)

域の皆さんとワークショップを開催し、協働による話し合いと情報共有を図りながら、基本計画の策定と設計業務に着手し、平成31年度に建設工事の着工、平成32年度中の完成、平成33年度中の開院を目指しています。

市民病院だより No. 11 2018年12月1日発行【年4回発行】

編集・発行

大崎市民病院 病院経営管理部総務課 TEL 0229-23-3311 (内線 3503)

〒989-6183 大崎市古川穂波三丁目8番1号

Web <http://www.h-osaki.jp> E-Mail soumu-och@h-osaki.jp

